



タブレットで楽しく理解が進む♪

海部小学校6年生…理科の学習(令和4年7月7日)



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **65** (2022.8)

おもな内容

特集記事	議員紹介	2~3P
町長所信表明		10P
議会のうごき		11P
一般質問		13~17P

紹介・抱負

任期：
令和4年5月14日から
令和8年5月13日まで

議

員

紹

介

議長 小山 慎

議員皆様のご推挙により、議長を

拝命いたしました。誠に光栄であるとともにその責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

微力ではございますが、決意を新たに、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

現在、行財政改革に取り組んでいる町政の監視機能を果たしつつ、町民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、政策立案や提言に取り組み、本町発展のために議会としての役割を果たしてまいれる所存でございます。町民の皆様には、今後より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



副議長 東 久博

この度は、副議長にご推挙いただき、身に余る光栄であるとともに、この重責を

痛感し、改めてその使命を心に刻むところであります。今日の地方自治を取り巻く環境は、大変厳しいものがあり、時代や状況に即した取り組みが不可欠となっております。議会の果たすべき役割は一層重要であると感じています。町民皆様の負託と信頼に応えるため、小山議長の下、二元代表制の一翼を担う議会として、充分に役割を果たせるよう努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西山 幹男

未来に希望が持てる町づくりを実現するため、第一に少子化問題また住民福祉増進を図り、住民のニーズに応えていきます。

今後とも厳しいご指導と、あたたかいご支援を賜りますことをお願いいたします。



見吉 政貴

住民から負託された事について迅速に対応し、住民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり、福祉の向上に努力し、4年間悔いの残らない議会活動を行っていきます。



島崎 勝弘

魅力のある海陽町に!!

町民の皆様の声を行動を持って町政に反映し、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりを目指し、4年間議会活動に頑張っております。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。



戸田 真理子

激動の時代となり、自然災害の猛威に加え、コロナ禍やウクライナ情勢など、住民生活への影響も大きくなっています。

次世代のためにも、海陽町が「安心で安全に暮らせる愛着の持てる町」となりますよう、これからは住民目線で、町政へと繋いでまいります。



海陽町議会議員

議

員

紹

介

長岡 秀一郎



新たに、4年間の負託を受け、「初心に帰り」議会活動に真摯に取り組みます。本町も少子化、人口減少、近年の局地的豪雨、また地震・津波に関する防災問題と、課題は多岐に渡っております。今後も安心して生活できる町づくりに向け、微力ではありますが、問題解決に取り組んでまいります。

高島 武夫



この4年間、町の発展・町民のニーズに迅速に対応し、「災害から町民を守る」を第一義に行動をしてまいります。線状降水帯・台風・南海トラフ巨大地震・大津波は必ず来ます。地域ごとの対策、災害後に備える事前復興計画・防災公園の整備など一級建築士の経験を活かして取り組みます。

原 ひろみ



コロナ禍・ロシアのウクライナ侵攻による物価高騰・頻発する自然災害等、多くの住民が毎日不安な生活を送っております。住民のニーズに応えるために小さな声を聴き、安心して未来に希望が持てる町づくりに全力で取り組んでまいります。皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

叶岡 徹



町民皆様の声を町政に届けます。町行政へのチェック及び意見、住民全体への福祉向上と地域社会の発展を目指し、その実現に努力いたします。私は本会議において一般質問で町に答える求めます。ご意見ご要望があればいつでも言って来てください。

富田 寛



初心忘るべからず。海陽町の住民で良かったと思える町に、また高齢者の方々にやさしい町づくりになるよう尽力いたします。
①議員定数削減への取組。
②第2次産業への製造業の企業誘致。
③地域包括ケアシステムの推進。

佐川 富美



皆様のご支援のおかげで再選を果たすことができました。「はしる・かける・さがわ」のキャッチフレーズで「即行動・実践」を心掛け、ご要望に耳を傾け町民の代表として、声をお届けできるよう全身全霊で頑張っております。

木内 正和



旧海部町にて5期、合併から16年ぶりに議会にカムバックした木内です。昭和51年4月14日に木内接骨院を開業して46年になります。少子高齢化の波は急速に進んでいます。待ったはありません。特に農林水産業に補助金を入れて活性化を目指して頑張ります。

長江 範裕



この度、皆さまのご支援をいただき議員となりました。課題が多い町政を行政の経験からチェックし、住民目線で政策を提言してまいります。過去を反省して現在を考察し未来へ繋げ、安心して暮らせるまちづくりを目指します。今後ともご指導、ご支援くださいますようお願いいたします。

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生生の2
 常任委員会を設置しています。本会議から付託
 された議案などを活発に審議・調査しました。
 委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 叶岡 徹

6月13日開会。

開会后、中里農業構造
 改善センターを巡視の
 後、当委員会が所管する
 定例会提出議案につい
 て、各担当課から説明を
 受けた。

訴えの提起

○ 町営住宅の家賃の滞
 納者に対し、明渡し請求
 などの訴えの提起を行
 う。

委員の問 高額滞納と
 なったのは、徴収努力が
 足りず、町に責任がある。
 担当者が異動しても引継
 ぎを行うべき。

答 町長「引継ぎを適正
 に行い、徴収に努め、未
 来に負担が残らないよう

努力していく。」

予算関係

○ 一般会計補正予算
 歳入歳出それぞれ4億
 7986万円を追加し、
 総額を73億3586万円
 とする。

農林水産業費

・ 燃油価格高騰緊急対策
 事業および配合飼料価格
 高騰緊急対策事業

「950万円」

委員の問 燃油価格高騰
 緊急対策事業の施設園芸
 の町内の対象者数は。

答 30経営体であり、施
 設園芸の暖房機器を備え
 ている事業者が対象。

土木費

・ 町道路面性状調査

「380万円」

・ 通学路区画線改修

「500万円」

委員の問 区画線の整備
 箇所は。

答 教育委員会と調査
 し、大里浜崎地区、松原
 地区と穴喰馳馬地区の予
 定。

委員の問 中山地区の河
 川堆積土砂について、大
 雨による冠水の恐れがあ
 り、県に早急に対応する
 よう要望してほしい。

答 要望は続けており、
 11月の渇水期から、対応
 していくと回答があった。

○ 水道事業会計補正予
 算

・ 吉野水源地ポンプ更新
 工事 「650万円」

その他

委員の問 地域おこし協
 力隊の人数と退任後の定
 住者数は。

答 現職が1名、任期満
 了後も定住している方は
 6名である。

陳情

○ 日本政府に核兵器禁
 止条約の調印・批准をす
 ることを求める意見書採
 択を求める陳情

審議の結果、採択とし、
 議員提案で議案提出。



委員長 叶岡 徹 委員 西山 幹男 戸田眞理子 東 久博
 副委員長 長江 範裕 見吉 政貴 原 ひろみ

○ 家族従事者の働き分
 を認めない所得税法第56
 条の廃止を求める要望

審議の結果、継続審査
 とする。

その他主な事業は、
 左のページに特集して
 います。

地震・水害に強い避難所に!!

中里農業構造改善センター 耐震補強改修事業

1億1791万円

老 朽化したセンター（築48年）を大地震や豪雨災害に備え、宍喰地区山間部の避難拠点として耐震補強、改修します。



委員会で巡視を行った中里農業構造改善センター

価格高騰支援として



鞆浦漁業協同組合と鞆奥漁港

農林水産業費 950万円

漁業（A重油） 500万円
施設園芸（A重油） 300万円
畜産業（配合飼料） 150万円

対 象は、国のセーフティネット制度の加入者で、コロナ禍やウクライナ情勢の影響による経営者の負担を軽減するものです。

まちの活性化を目指して

海陽町元気 プレミアム商品券 事業 7940万円

新 型コロナ対策として行う経済対策支援及び原油価格物価高騰対応事業です。

※1セット 5000円で7000円分の商品券。
1人4セットまで購入できます。

海陽満喫 キャンペーン 事業 4500万円

新 型コロナウイルス感染症対策事業として、観光産業への誘客促進事業を行います。

※1人1000円以上利用されたアクティビティや観光施設利用者に対して、1000円分の飲食券と、町内施設で宿泊された方に観光施設等で利用できる500円分の観光券を配布します。

文教厚生常任委員会

委員長 富田 寛

6月14日開会し、当委員会所管の協議事項である、6月議会の提出議案について、説明を受けた。

予算関係

○ 一般会計補正予算

歳入予算

民生費

・住民税非課税世帯等の臨時特別給付金

〔3356万円〕

・子育て世帯生活支援特別給付金

〔576万円〕

・ファミリーサポートセンター利用料補助

〔27万円〕

・敬老会記念クーポン

〔551万円〕

委員の問 ファミサポの利用料補助について、少

子化が進む中で子育て支援はもっと充実すべきでは。

答 町長「さらなる充実を考え、今回見直しをしており、今後も利用を促進していきたい。」

委員の問 敬老クーポンが好評だったとの声を聞くが、敬老会はどのような形で開催を検討しているのか。

答 コロナの感染状況をみながら7月末頃に判断する。

衛生費

・新型コロナワクチン4回目接種事業

〔1202万円〕

・PCR検査委託料

〔200万円〕

委員の問 コロナワクチン4回目の接種を見合わせた場合、次回に接種することは可能か。

答 再申込は可能である。

教育費

・GIGAスクールサポート事業委託業務

〔120万円〕

・実働中学校グラウンド照明事業

〔5030万円〕

・一般コミュニティ助成事業補助金

〔160万円〕

委員の問 タブレット教

育について、各小中学校が同程度のレベルで公平に授業ができているのか。

答 ICT学校教育部会を設置し、学校間で情報共有しレベルアップを図っている。

委員の問 一般コミュニティ助成事業補助金で川

東公民館が購入したテントは、他の公民館でも利用できるのか。

答 利用可能である。

○ 海南病院事業会計補正予算

・一般会計からの繰入金

〔減額677万円〕

常勤医師1名が、4月から週3日勤務になったことによる人件費の組み替えや、正看護師1名減による給料、手当等の減額。

・週3日勤務の外來病棟診察に加え、宿日直、学校健診、訪問診療等に対する報酬

〔1816万円〕

・通勤手当旅費交通費

〔244万円〕

委員の問 正規の常勤医師が減っているが、入院や訪問診療等に支障はないのか。

答 入院については4月と5月は若干の支障はあるが、継続して入院は受け入れており、訪問診療・訪問リハ・巡回診療等の在宅医療については力を入れて実施している。



委員長 富田 寛 委員 島崎 勝弘 長岡秀一郎 木内 正和
副委員長 佐川 富美 委員 高島 武夫 小山 慎

答 入院については4月と5月は若干の支障はあるが、継続して入院は受け入れており、訪問診療・訪問リハ・巡回診療等の在宅医療については力を入れて実施している。

委員の問 今年度の経営

見込みは。

答 入院数は前年より減っているが、包括ケア病床の入院数を増やすことにより、収益の増収を図れるよう職員が共通認識のもと業務を行っている。

委員の問 医師・看護師

の確保が難しい理由は、報酬面と遠距離通勤面が課題となっている。

その他主な事業は、左のページに特集しています。

ネイティブ講師と英語に親しむ

企業向け 英語サポート 事業

110万円

グローバル社会に伴い、飲食店などの英語メニュー作成等について、CIR（国際交流員）が支援を行います。

英語で観光ツアーガイド 事業

120万円



ALTに観光地の案内をする中学生

県内のALT（外国語指導助手）と交流しながら、町内の観光スポットを中高生が英語で発信します。

子育ての支援を充実させます



補助対象のベビー用品の例

ベビー用品 購入補助 100万円

新たにベビー用品購入費の助成をはじめます。チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドについて、購入金額の2分の1を助成します。

ファミリー サポート センター 利用料補助

27万円

子育て支援のため、1時間700円の利用料を500円に、ひとり親や移住者の方は300円に、2人目以降は無料にします。

感染が続くコロナ対策のため

PCR自主検査 費用助成 200万円

町内の医療機関で新型コロナウイルス自主検査（PCR検査等）を受ける方の検査費用助成の回数制限をなくします。
※自己負担額は3000円です。

議案審議

令和4年度一般会計補正予算

Q1. 中里農業構造改善センター
改修工事請負費（津波対策費）

〔1億1400万円〕



長岡議員

地震津波避難施設として、耐震を兼ねて改修されるが、事業に対し補助金が2割もない。もう少し効率の良い補助金はなかったのか。

奥原危機管理課長

計画当初から、県にも相談し、補助金等々を探したが、耐震補助事業が最も大きかった。残りの事業費については、合併特例債を充当することとしている。

Q2. ベビー用品の購入助成金

〔100万円〕



東議員

ベビー用品の購入助成の申請は、どのような手順となるのか。

大崎福祉人権課長

チャイルドシートやベビーカー、ベビーベッドを購入した場合、満1歳までに福祉人権課へ申請する。

Q3. 口座引落キャンペーン
粗品購入費（税務総務費）

〔37万円〕



佐川議員

キャンペーンの粗品とは、どのようなものを考えているのか。

圓山税務課長

現在検討中であるが、新規に口座振替を登録した方に、エコバックかトートバックをお渡しすることを考えている。

Q4. 保育間伐工事請負費
（林業費）

〔250万円〕



富田議員

保育間伐事業の、場所と面積、また発注は町内業者か。

乃一農林水産課長

箇所は若松地区で、当初予算で20鈔分を計上していたが、実測により3鈔分を追加補正。発注は、町内業者を予定している。

Q5. 博物館備品購入費

〔60万円〕



原議員

博物館の備品は、どんなものを買う予定なのか。

森崎教育次長

今回、現代の海部刀での重さ体験をできるようにする。真剣をケース展示するにあたり、安全性も考慮し、監視カメラ1基を購入し、設置予定である。

Q6

燃油価格高騰緊急対策補助金

(農業費) [300万円]
(水産業費) [500万円]



高島議員

補助要件のハードルを下げ、小規模かつ高齢化している事業者に対応すべきでは。

乃一農林水産課長

農業者は施設園芸を営む方。農業・漁業とも、対象となる燃油はA重油。また要件として、国が実施するセーフティーネット構築事業(国と事業者の間で積立をし、燃料価格上昇時に補填するもの)に加入している方となっている。

Q7

特産たくさんふるさと便事業業務委託料(教育費)

[200万円]



長江議員

1人当たりの金額はいくらか。また、何人分を予定しているのか。

森崎教育次長

町出身の学生等の生活応援事業であり、1人当たりの単価は約1万円である。対象者の予定は、160人を見込んでいる。

新しい議席での議場の様子

(コロナ対策で議席を空けています)



魅力ある町の実現を目指す

町長 三浦 茂貴

4月24日の町長選挙において、引き続き2期目の町政を担当させていただくことになった。今までの4年間で、まいた種を枯らすことなく、花を咲かせていかなければならないという重責と、これからも町のために仕事を続けられることを大変うれしく思っている。

社会情勢がめまぐるしく変化する現在、従来の常識を見直し、さらに改革をしていかなければならない。
今回の町長選挙で身に余る信任を頂く中で、改めて「この4年間の町政が間違いではなかった」と実感をし、「さらに思い切った前向きに頑張りたい」との町民からの強いエールも頂いた。今

後もその方向性は変える

ことなく「未来世代に選ばれる魅力ある海陽町の実現」に向けて、これからも一所懸命取り組んでまいります。

海陽町誕生の年に生まれた子どもたちも、もう16歳になる。次世代の皆さんが成長し、バトンを握る30年後に責任を持つ

る政治をするために、今後も若いエネルギーと創造力でこの町を活性化し、新しい発想やセンスも加え、これからの町の未来を描いていければと思う。

その中で、4年前の初登庁の際に職員に訓示した「5つの基本理念」を今期は改めて具体的に実践に移していきたい。

1つ目は「民間の当

り前を行政の当たり前にする」

究極のサービス業であるべき役割として、まだまだできることはたくさんあるので、具体的に取り組んでまいりたい。

2つ目は「前例を打破する」

変わらなければ生きていけない時代の変革期中、失敗を恐れず勉強も「普通といわれるものは低い評価である」という位の認識を持って進めてまいります。

3つ目は「できない理由を考えるのではなく、やれる方法を考える」

常に問題点を見つけて出し、そこから逃げずに新しい海陽町のルールを作り、積極的に社会を変えていく中で「できない」を「やれる」に変えていけるようにしていきたい。
4つ目は「全員が経営者になる」

職員全員が、経営者感覚で物事を見ることがで

ければ、地方自治法の「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」という精神が常に徹底できるはずである。

5つ目は「30年後の町の将来像をみんなで共有して進んで行く」

30年後の将来を見据える中で、しっかりとした方針の下で「まちの未来

構想」を作り上げていかなければならない。

これからは職員にも様々な発想をしてもらい、誰でも気兼ねすることなく提案、企画ができ、それを検討、実現できるような組織を構築してまいりたい。

これからの4年間は、この基本的な方針を掘り下げ、具体的に進めていき、職員みんなが同じ方向を向いて海陽町を前へ進めていけるように取り

組んでまいります。

これまでの様々な過去の経緯やしがらみ、法律や財政上の限界といった壁を乗り越えて、相互理解のもと皆様とともに知恵を出し合い、前向きに次の時代の海陽町を築き、本町が益々発展するよう、そして町民が少しでも「潤い」を感じられるよう、夢と実効のある政策を提案し、着実に進めてまいりたいと思うので、ご協力をお願いしたい。



改選後の初登庁で花束を受け取る三浦町長



西宮 治氏 (50歳)

教育委員の任命

第1回臨時会で同意。(再任)
※任期は5月27日から4年間



前川 清和氏 (74歳)

監査委員の選任

第2回定例会で選任に同意。
※任期は6月21日から4年間

日本政府に核兵器禁止条約の
参加・調印・批准を求める
意見書 (要旨抜粋)

広島、長崎に原爆が投下されてから72年を経た2017年、核兵器禁止条約が採択された。「唯一の戦争被爆国」として、核兵器全面禁止のため、条約に参加、調印、批准することを強く求める。

全会一致で可決し、内閣総理大臣・外務大臣に意見書を提出しました。

選挙管理委員会委員及び補充員



- [委員] 森 貢 多田 裕子
吉田 和栄 櫛田 恵子
- [補充員] 由木 和幾 佐藤 和久
穴戸 正典 上野 揚子 (敬称略)

第2回定例会で指名推選により決定。
※任期は6月21日から4年間

議会のひりき

4月1日から
6月30日まで

4月

- 19日 議会議員選挙告示
- 議会議員選挙立候補者受付
- 24日 議会議員選挙投票および開票

5月

- 16日 新議会での議員懇談会
- 23日 第1回臨時会(初議会)
- 議会全員協議会
- 25日 海部川風流マラソン実行委員会総会
- 30日 町村議会議長・副議長研修会(東京)
- 31日 県選出国会議員へ道路整備要望(東京)

6月

- 6日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 13日 第2回定例会(1日目)
- 総務産業建設常任委員会
- 議会運営委員会
- 文教厚生常任委員会
- 14日 第2回定例会(2日目)
- 議会広報編集特別委員会
- 17日 東洋町議会議長と意見交換(東洋町)
- 22日 海部郡議会総会(牟岐町)
- 29日 町村議会議長会役員会(徳島市)
- 30日

第2回定例会

議案の審議

令和4年第2回定例会は6月13日開会。町長より17件、議員から1件の議案・報告が提出され、原案どおり可決し、6月16日閉会した。

条例関係

- ・海陽町介護保険条例の一部を改正する条例
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

承認関係

- ・訴えの提起について
- ・徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

予算関係

- ・令和4年度一般会計補正予算(第1号) 4億7986万円↑
- ・令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 610万円↑
- ・令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 223万円↑
- ・令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 24万円↓
- ・令和4年度浅川公共下水道特別会計補正予算(第1号) 15万円↓
- ・令和4年度海部公共下水道特別会計補正予算(第1号) 250万円↑
- ・令和4年度穴喰公共下水道特別会計補正予算(第1号) 83万円↓
- ・令和4年度水道事業会計補正予算(第1号) 650万円↑
- ・令和4年度海南病院事業会計補正予算(第1号) 677万円↓

注釈
↑ 増額
↓ 減額

人事関係

- ・監査委員の選任について
- ・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

報告関係

- ・繰越明許費に係る繰越計算書の報告について
- ・建設改良費繰越に係る繰越計算書の報告について

意見書

・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

第1回臨時会

議案の審議

一般選挙後の初議会として、5月23日開会、次の議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

人事関係

- ・議長選挙・副議長選挙及び各委員会構成
- ・徳島県後期高齢者医療広域連合議員選任について
- ・教育委員会委員の任命について
- ・監査委員の選任について

承認関係

専決処分の承認(予算)

- ・令和3年度一般会計補正予算(第9号) 3億4396万円↑
- ・令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 9071万円↓
- ・令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 460万円↓
- ・令和3年度介護保険特別会計補正予算(第4号) 2362万円↓
- ・令和3年度浅川公共下水道特別会計補正予算(第2号) 525万円↓
- ・令和3年度海部公共下水道特別会計補正予算(第3号) 396万円↓
- ・令和3年度穴喰公共下水道特別会計補正予算(第4号) 600万円↓
- ・令和3年度神野農業集落排水特別会計補正予算(第2号) 74万円↓
- ・令和3年度川西農業集落排水特別会計補正予算(第3号) 260万円↓
- ・令和3年度日比原農業集落排水特別会計補正予算(第2号) 43万円↓
- ・令和3年度漁業集落排水特別会計補正予算(第3号) 223万円↓
- ・令和3年度鉄道経営安定基金補正予算(第3号) 1000万円↓

注釈
↑ 増額
↓ 減額

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億2,161万2千円	8.5
地方譲与税	0	1億3,960万円	1.9
利子割交付金	0	40万円	0.0
配当割交付金	0	420万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	550万円	0.1
法人事業税交付金	0	730万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億5,120万円	2.1
環境性能割交付金	0	340万円	0.0
地方特例交付金	0	250万円	0.0
地方交付税	0	37億4,275万9千円	51.0
交通安全対策特別交付金	0	60万円	0.0
分担金・負担金	0	3,687万9千円	0.5
使用料・手数料	0	9,527万7千円	1.3
国庫支出金	7,860万4千円	4億6,265万6千円	6.3
県支出金	437万3千円	4億6,886万2千円	6.4
財産収入	0	4,533万1千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	1億6,379万8千円	8億1,530万5千円	11.1
繰越金	2,733万2千円	8,733万2千円	1.2
諸収入	3,495万3千円	1億1,754万7千円	1.6
町債	1億7,080万円	5億2,690万円	7.2
合計	4億7,986万円	73億3,586万円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	△138万4千円	6,749万4千円	0.9
総務費	△1,540万6千円	12億73万1千円	16.4
民生費	6,754万1千円	18億1,684万3千円	24.8
衛生費	1,229万6千円	7億2,047万5千円	9.8
農林水産業費	1,499万4千円	4億6,879万1千円	6.4
商工費	1億4,297万3千円	3億4,768万3千円	4.7
土木費	3,853万9千円	6億3,829万1千円	8.7
消防費	1億5,391万5千円	5億7,214万1千円	7.8
教育費	6,943万2千円	7億251万4千円	9.6
災害復旧費	0	2,405万円	0.3
公債費	0	7億4,599万7千円	10.2
諸支出金	△304万円	1,637万円	0.2
予備費	0	1,448万円	0.2
合計	4億7,986万円	73億3,586万円	100.0

トンガ海底火山噴火後の対応を問う



木内 正和 議員



《農林水産課長》漁業者の支援事業を創設し、補助を行った

県により整備された鞆奥漁港に隣接するトイレ・駐車場など

問 トンガ海底火山爆発を受けて我が町の体制は、漁民の被害の状況と補償について問う。
鞆浦山下津波避難施設をなぜ利用していないの

か。また今後は活用していくのか。
鞆奥漁港に隣接するトイレ、シャワー、駐車場の施設については漁協に管理させればどうか。

答 奥原危機管理課長
災害情報の発令時には、防災計画により、職員参集および対策本部設置基準を定めている。

答 乃一農林水産課長
穴喰漁港で6隻の漁船が転覆、沈没、漂流。5件の小型定置網が被害を受けた。町農林水産業再建特別支援事業補助金を創設し、漁業者に必要な施設、機械器具等の修繕及び再取得に要する経費の支援を行った。その他に、県水産振興公害対策基金より、支援事業を実施していただいた。

答 奥原危機管理課長
山下避難所は平成14年建築であり、新たな浸水想定では高さ不足で、避難所から除外した。今

後、地元住民の意見を聞きながら有効活用を考えたい。

答 戒谷商工観光課長
鞆奥漁港に隣接するトイレ、駐車場等は、県により整備され、施設管理は町が受託し、清掃、植栽管理、電気・水道、浄化槽点検などの管理経費を負担している。今後の管理は、漁協関係者の意見も伺い、事業化が可能か、県と協議を行いたい。

答 黒木建設課長
内堤防整備は、県事業で、延長約1km、事業費2億7300万円の計画。昨年度着手し、190トイレを整備。今年は216トイレを予定。完成目標は、令和7年度とのこと。

神社・仏閣等の整備方法を考えられないか

問 松原海岸内堤防の進捗状況と完成時期は。八幡神社境内にあるトイレについて、老朽化しているが改築できないか。奥浦西山墓地の土砂崩れによる通行不能状態を町が補助できないか。災害による大規模改修を要する施設、神社、仏閣については必要かつ重要性を考慮して、超法規的判断で文化遺産としての補助してはどうか、町長の考えをお聞きしたい。

答 戒谷商工観光課長
大里八幡神社のトイレは、神社所有であり、政教分離の原則により公金の支出はできないこととなっている。

答 黒木建設課長
崩壊箇所は民有地であり、町の復旧工事ではないが、二次災害を防止のため、ブルーシートを設置する応急対策を実施。

答 三浦町長
八幡神社のトイレに関しては、地元の意見も伺い、地域活動として所有管理するトイレを作るというのであれば、コミュニティ活動の助成対象とすることも可能ではないかと考えている。

〈町長〉
できる方法を考えていきたい

今後、高齢化に伴い、各地域の文化の継承が非常に難しくなってくる。分館補助金の上乗せなどにより、伝統行事の復活や文化振興に活用できないかも考えていきたい。

一般

質

問

フレックスタイムを導入してはどうか



長江 範裕 議員

〈町長〉 より良いサービスの議論を進める

問 町行政の一番の役割は、そこに住んでいる町民に対して、町民目線に立って、いかに住民サービスを提供できるかである。職員が元気でやる気に溢れていればよりよいサービスを提供できると思うが、町民が役場を利用しやすいように、また職員が働きやすいようにフレックスタイムの導入をしてはどうか。

注（フレックスタイム制とは、自由度のある時差出勤）

答 三浦町長

行財政改革プロジェクトチームで十分、方向性を議論をし、より良いサービスが提供できるように、今後も全職員で、しっかりと進めてまいります。

職員採用の事務系のスキルとは

〈町長〉 多様なスキルにより
住民サービスの向上に努める

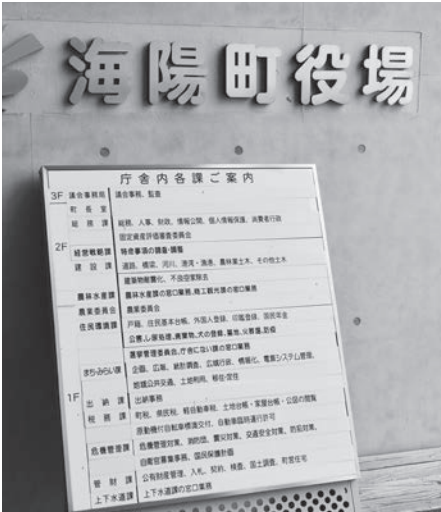
問 職員採用について、事務系の職員のスキルとは具体的にどのようなスキルを求めているのか。

答 三浦町長

役場は町民の役に立つ人のいる場所という考えであり、職員には町民目線で民間のスキルを持った人材を求めている。町民は基本的に、困った時

に役場に来る。さまざまなスキルを持った人材が増えていくことにより、軽微なことは全て役場で対応できるぐらいの知識と能力を持った多様性のある役場にしていき、周りの職員も生きた教科書として勉強することにより、究極のサービス業が提供できる役場になると考えている。

私の欲するスキルを持った人材も獲得しながら、さまざまな角度から役場業務を見直し、多様性のある役場組織に改善することにより、住民サービスの向上に努めていければと思っている。



海南庁舎玄関の各課案内標示板

子どもたちのアフターコロナ対策を

〈福祉人権課長〉 相談体制の充実を目指す

問 保育所・幼稚園に通っている幼児や小・中学校に通っている児童・生徒はコロナが治った後の心のケアが大事である。今後どういった体制を取って、アフターコロナのケアを考えているのか。

答 大崎福祉人権課長

新型コロナウイルス後の心のケアを危機管理の一環と位置付け、日常から子どもの健康観察を徹底し、家庭と連携し、心や体調の変化の早期発見、早期対応を行っている。

今後もコロナに起因する諸問題については、保育所、幼稚園、学校、家庭、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーが連携し、園児、児童、生徒からのサインを見逃さず、子どもたちや保護者の不安やストレスにしっかりと寄り添うことのできる相談体制の充実を一層進めていく。

ヤングケアラーへの取り組みは



佐川 富美 議員

〈福祉人権課長〉 関係機関と連携し対応していく

問 ヤングケアラーという言葉は耳にする。ヤングケアラーは自分で気が付いていないことが多い。県は本年度中にも実態調査を行う予定だが、海陽町での実態調査は、自分が該当すると思ってもなかなか自分からは言えない。それを、気づき、見いだすことができよう取り組みは。

答 大崎福祉人権課長
本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆるヤングケアラーにつ

いて、町では、日々の学校の先生方のきめ細かい見守り、悩み相談の中で、家庭、児童生徒の状況を把握しているところである。

また今年度から、海陽町要保護児童対策地域協議会の体制の見直しを進めており、協議会に新たに実務者会議を設置する。児童虐待やヤングケアラーと思われる子どもの早期発見や実態の把握を行い、必要な支援につなげたい。

子ども食堂は、食事を提供する場だけでなく、子ども居場所づくりや地域における交流の場として重要な役割を担っている。今後、子ども食堂の立ち上げに意欲のある方に、講習会を実施するなど、県や関係機関と連携して取り組んでいきたい。

防災無線整備の進捗状況は

〈危機管理課長〉 今年度実施設計、来年度着手予定

問 昨年12月に聞き取りにくい防災無線の整備とこれからの対策について一般質問をしたが、その後の進捗状況とまた早急にスマートフォン、パソコンで情報を受信できるようにはできないのか。

答 奥原危機管理課長
昨年度、防災無線整備の基本構想の策定を行った。基本構想では、情報伝達を確実にするため、個人のスマートフォンへ音声、文字、画像などを表示する機能や屋内外で各個人、世帯に届くシステムや、プッシュ型の情報配信のシステムの構築など、整備方針の確認を行っている。今年度6月議会において、工事設計委託業務を予算計上し、基本設計及び実施設計を行っていく予定である。今後は、住民の方々へ瞬時に、より確に情報伝達ができるよう、来年度より整備工事に着手したい。



海南庁舎屋上に設置されている防災行政無線のアンテナ

一般

質

問

鞆浦地区の排水路流域全体計画書作成は



富田 寛 議員

〈建設課長〉

現状を精査し、対策を検討していく

問 黒木建設課長

鞆浦地区では、平成27年9月の集中豪雨によ

り、多数の家屋が床上床下浸水し甚大な被害を受けた。被災原因を調査するため、排水路流下能力調査を実施し、改修計画を策定した。南町下流地区で水路が狭くなっている区間があり、水の流れを阻害しているとの結果であった。このため、水路の改修工事に着手し、令和2年度に完成している。また側溝の維持補修の対応も行った。

しかしながら、昨年度の線状降水帯による豪雨では、北町地区の一部で雨水がスムーズに流れないなどの報告があった。今後は、鞆浦地区全域で、大雨時の現状を十分把握し、修繕、改修等が必要であれば迅速な対応をとって、住民の安全が確保できるよう努め、排水対策が可能な方法を十分検討した上で、計画を策定して進めてまいりたい。

旧鞆浦漁協事務所横の水路開口部について

〈建設課長〉

対策を検討し、工事に着手する

問 旧鞆浦漁協横の家屋が取り壊され、排水路開口部に園児、児童が落下したら大けがをする危険

答 がある。早急に排水路計画をし、床板工事も合わせて対応をしていくべきと考えるが。

答 黒木建設課長

鞆浦東地区での、家屋を取り壊した後の状況は確認している。開口部が危険なため、安全性、経済性を考慮し、今年度に対応方法の検討を行い、工事に着手できるように進めてまいりたい。



山から排水路が埋設されている町道北町高倉線

一般

質

問

高齢者の生きがい対策をどうしていくのか



叶岡 徹 議員

〈町長〉 将来を見据え取り組むべき
重要な施策と考えている

問 本町において高齢者対策を早急に考えていくべきと思う。今、高齢者サロン等をどれぐらい設置をしているのか。またどれぐらいの方が利用しているのか。

答 多くの方がサロンを利用しているとのことだが、孤独感のある方、また運転免許を返納された方々の生きがいづくりをしなければならぬと思う。町内で作っていない田畑を利用して花など作物を植えて健康な体をつくり、生きがい対策をしてはどうか。

答 大崎地域包括ケア推進課長

令和3年度のいきいきサロンは、町全域で42地区、327回、参加人数は延べ2995名。各地

区で1カ月から2カ月に1回の開催状況となっている。

サロンでは、レクリエーション活動のほか、筋トレなどの身体機能を維持するための活動や、認知症予防などの介護予防教室の講座などを開催し、健康寿命を延ばせるよう取り組みを進めている。その他にも、社協が運営サポートしている老人クラブ連合会の活動や、高齢者の社会活動の促進を目指し、シルバー人材センターの活動も支援している。

答 三浦町長

休耕田を活用した高齢者の生きがいづくりは、良い提案であると思う。ますます高齢化が進む中で、高齢者の声も聞き、施策に反映して行ければと思っている。

久保・正梶地区の浸水対策は

〈建設課長〉 県と協力し取り組んでいく



線状降水帯発生による町道の冠水状況（正梶地区）

問 最近では線状降水帯豪雨等雨量が非常に多くなり被害が発生をしている。特に突喰久保地区の浸水対策を急ぐべきである。また、正梶地区の浸水も非常に危険である。その他の箇所においても同じく早急に対策を講じるべきであると思うが、どのように考えているのか。

答 黒木建設課長

突喰久保地区の浸水対策は、地域住民より要望のあった松本排水機場ポンプ増強について、事業計画が採択となり、県営事業として今年度から3カ年で実施予定である。また、昨年度は、突喰川の堆積砂利を約4万3000立方メートルが撤去され、町も、久保川の

堆積土砂撤去を行った。突喰正梶地区では、昨年度に排水路、側溝の清掃を行い、排水能力の回復を図っている。

今後は、大雨時に現地状況を確認し、必要に応じ調査も行い、対策案について検討するなど、引き続き県と協力し、浸水対策に取り組んでいく。



近藤 浩充さん

鞆浦字立岩

満97歳
(大正14.5.5生)



自宅菜園にて夫婦お揃いで
(令和4年7月11日)

・元気の秘訣は？

妻のキヌエさん(93歳)と
楽しく健康な二人暮らし。

栽培も加工も自家製の黒にん
にくを毎日食べている。

・日常生活や生きがいは？

詩吟歴50年以上で総師範を
取得。

野菜など畑仕事で毎日忙しい。

スマホを愛用している。

・人生で印象に残った出来事は？

19歳で海軍入隊し、横須賀での訓練時代に、東京大空襲の赤く焼けた空を見た。



委員長 東 久博 原 ひろみ 佐川 富美
副委員長 戸田眞理子 富田 寛 長江 範裕

編集後記

今定例会から議会体制が新しくなりました。新メンバーでの編集となりますので、よろしくお願ひします。

議会では、皆さまの生活に直結した重要な問題が審議されています。議会の動きや議員活動を、正確に、分かりやすくお伝えし、もっと議会を身近に感じていただけるよう努めてまいります。

ぜひ、皆さまからの、ご意見などお寄せくだされば幸いに思います。
(東)